

クルーズ乗船客 抹茶ときもの体験でおもてなし



▲沖館埠頭に入港した
ダイヤモンド・プリンセス
(歴史館の展望台より撮影)

▲あおり北のまほろば歴史館と
ダイヤモンド・プリンセス



9月7日(水)、大型クルーズ客船の「ダイヤモンド・プリンセス(全長290m、総トン数約11.6万トン、乗客定員約2700人)」が青森港沖館埠頭に寄港しました。同客船は、今年6回目の寄港となります。

沖館埠頭に隣接するみなとオアシスあおりの登録施設「あおり北のまほろば歴史館」では、ダイヤモンド・プリンセス寄港時、外国人の乗客に浴衣の着用体験と、副館長の石山さんが茶器でお茶を点てておもてなしをする『Japanese Tea Ceremony』を開催しています。この日は約30名が体験に訪れ、日本の文化を肌で感じる事が出来る貴重な体験とあって、非常に人気となっています。

『Japanese Tea Ceremony』は、次回「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港する10月1日にも実施される予定となっております。

このような日本ならではの和のおもてなしにより、青森港の魅力発信へと繋がる事が期待されています。

「あおり北のまほろば歴史館」とは…

青森市を中心とした郷土の歴史や民俗を総合的に紹介する展示施設です。

「日本三大刺し子と言われる津軽地方の『こぎん刺し』と南部地方の『菱刺し』の展示は、昔の農民の衣服なのですが、芸術作品のような貴重なものを数多く展示しており自信があります。」(石山副館長談)

詳しくはコチラから！<http://kitanomahoroba.jp/index.html>